

令和6年度 入札・契約、総合評価の実施方針(案)

〔工事〕

【参考資料】

令和6年2月28日



国土交通省 関東地方整備局

目次

1. 令和5年度の入札・契約の実施状況・・・・・・・・・・・・ 2
2. 令和5年度の総合評価落札方式の実施状況・・・・・・・・・・・・ 7

1. ①入札・契約方式の実施状況

(R5. 12月末現在)

- 令和5年度は、約75%の工事を一般競争で実施。
- 不調・不落が見込まれる案件において施工体制の確保を図るために公募型指名競争入札方式、フレームワークモデル工事を活用しているため、指名競争は約21%となっている。

(契約金額: 百万円)

	R 2			R 3			R 4			R 5 (R5. 12月末時点)		
	件数	割合	契約金額	件数	割合	契約金額	件数	割合	契約金額	件数	割合	契約金額
一般競争	1,028	78.9%	303,033	876	68.3%	300,527	779	74.7%	303,714	457	74.9%	147,596
指名競争	197	15.1%	36,497	336	26.2%	51,151	217	20.8%	32,728	128	21.0%	17,554
随意契約	78	6.0%	122,696	71	5.5%	16,073	47	4.5%	16,188	25	4.1%	31,715
合計	1,303	100%	462,226	1,283	100%	367,751	1,043	100%	352,629	610	100%	196,865

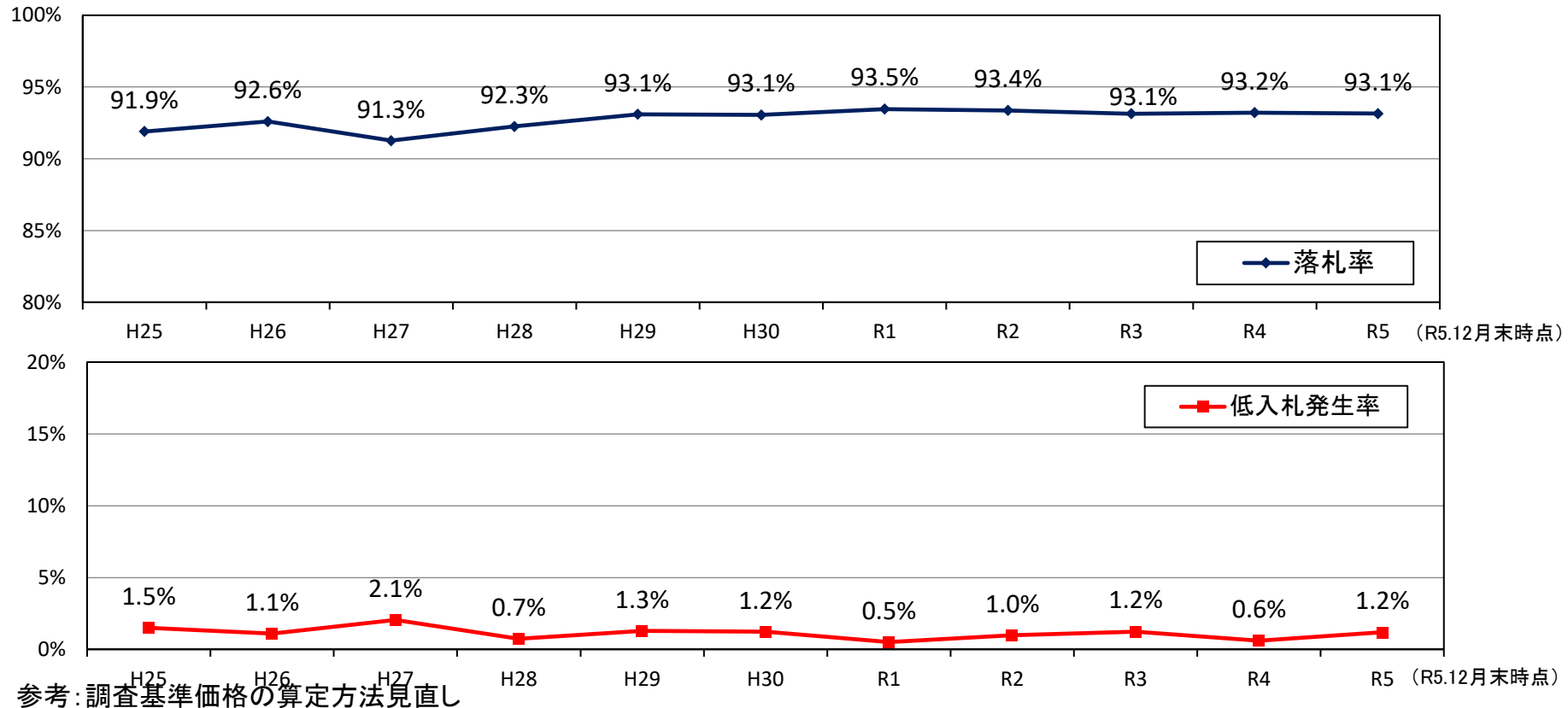
※250万円未満の工事を除く

※指名競争は、災害復旧工事、公募型指名競争入札及びフレームワークモデル工事にのみ適用。
 上表のうち、災害復旧工事への適用はR2年度に15件あり、R3年度以降は適用していない。

※随意契約には、特命随契のほか、不調随契を含む。

1. ②落札率・低入札発生状況

○落札率は、近年90%台で推移しており、令和5年度は**93.1%**。
 ○低入札発生率は、近年1.0%程度で推移しており、令和5年度は**1.2%**。

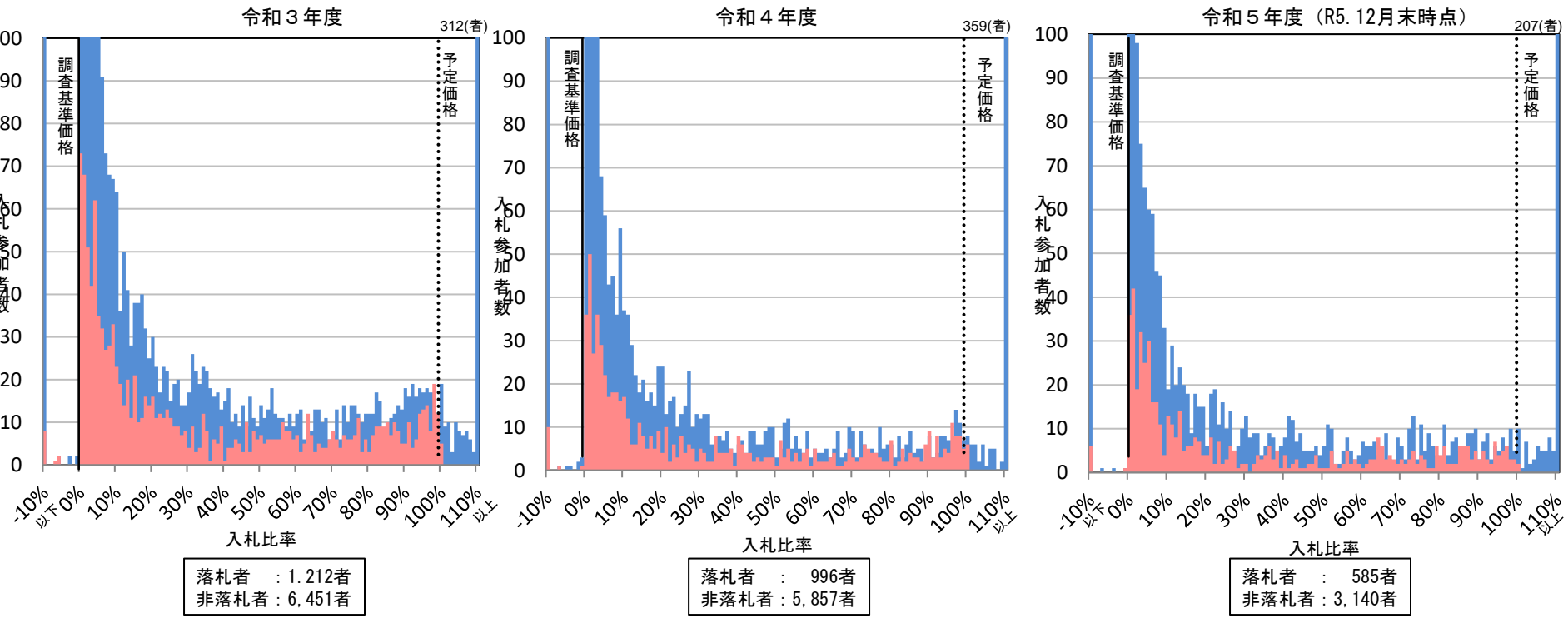


	H25	→	H28	→	H29	→	R1	→	R4
①直接工事費	95%	→	95%	→	97%	→	97%	→	97%
②共通仮設費	90%	→	90%	→	90%	→	90%	→	90%
③現場管理費	80%	→	90%	→	90%	→	90%	→	90%
④一般管理費	55%	→	55%	→	55%	→	55%	→	68%
【範囲】	7.0/10~9.0/10				→ 7.5/10~9.2/10				

※一般競争、指名競争を対象。随意契約を除く
 ※250万円未満の工事を除く

1. ③入札比率の分布

○ 入札比率の分布は、調査基準価格付近に集中する傾向は変わらない。



【入札比率の算出方法】

$$\text{入札比率} = \frac{\text{入札額} - \text{調査基準価格}}{\text{予定価格} - \text{調査基準価格}}$$

【凡例】

- 落札者
- 非落札者
- 予定価格
- 調査基準価格

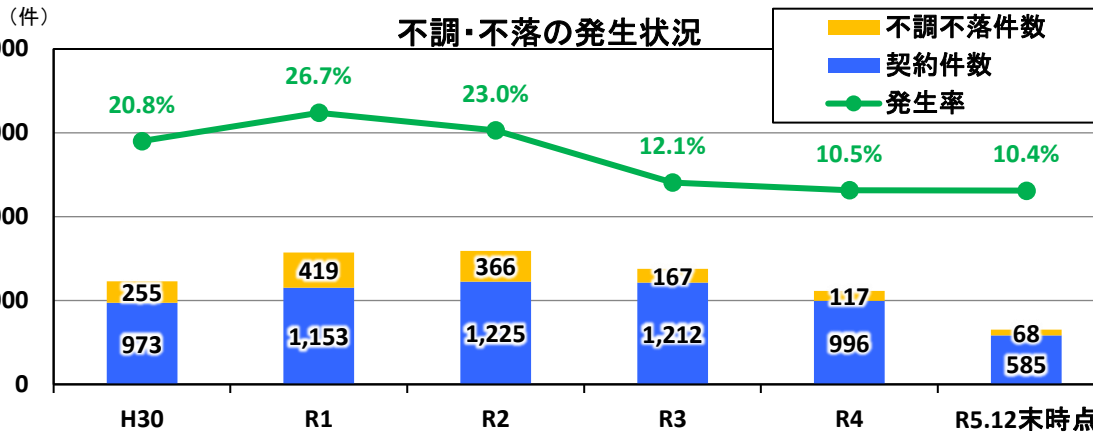
※一般競争、指名競争を対象
 ※250万円未満の工事を除く
 ※随意契約を除く

1. ④不調・不落発生状況

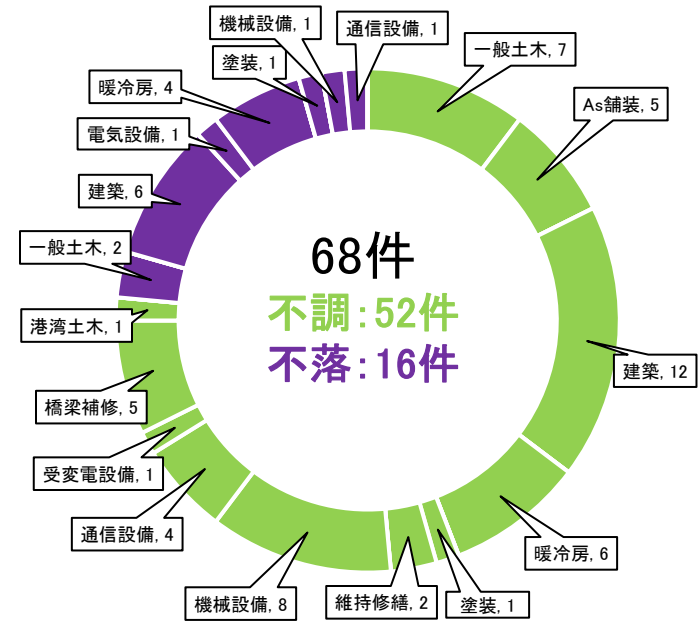
(R5. 12月末現在)

○令和5年度の不調・不落発生率は、10.4%であり、近年改善が図られている。

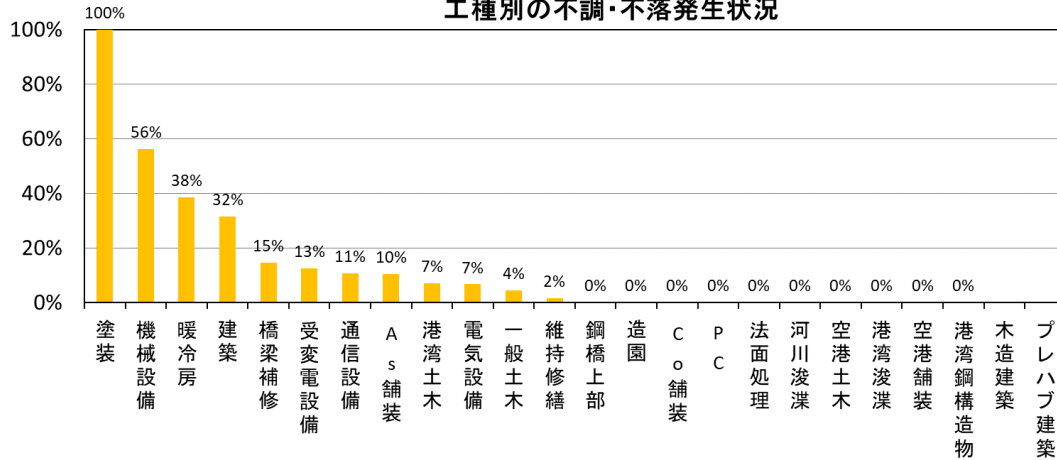
○工種別では、塗装工事、機械設備工事、暖冷房衛生設備工事、建築工事で30%を超えており特に高く、更なる取組の推進が必要。



不調・不落の工種別発生件数内訳



工種別の不調・不落発生状況



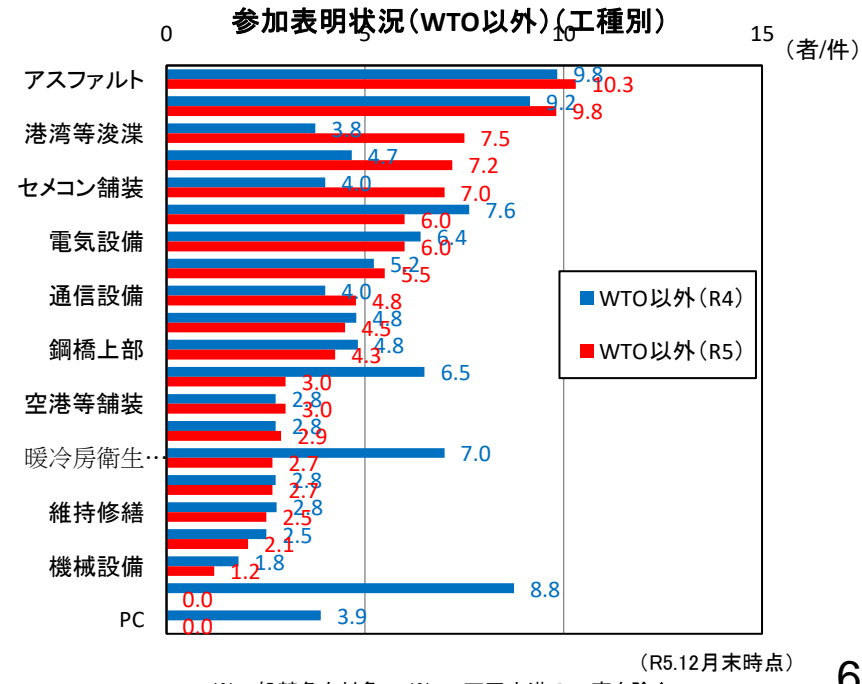
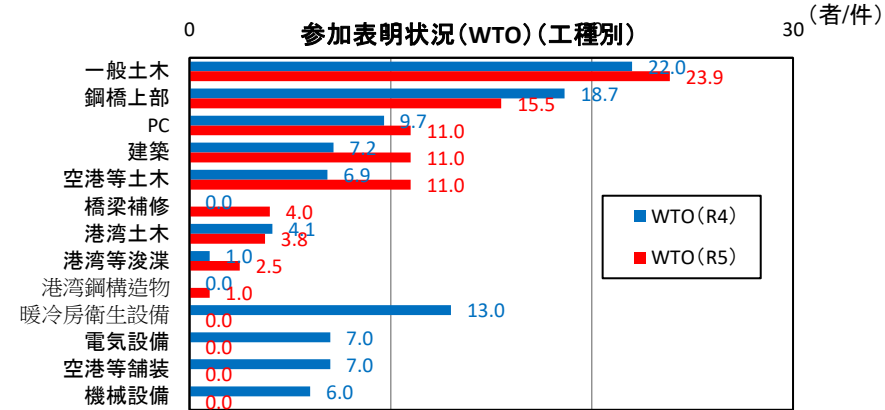
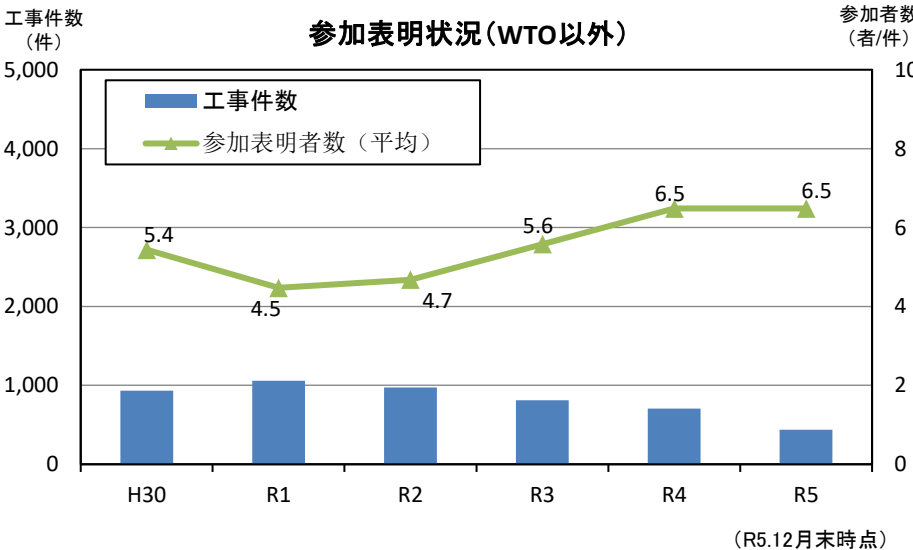
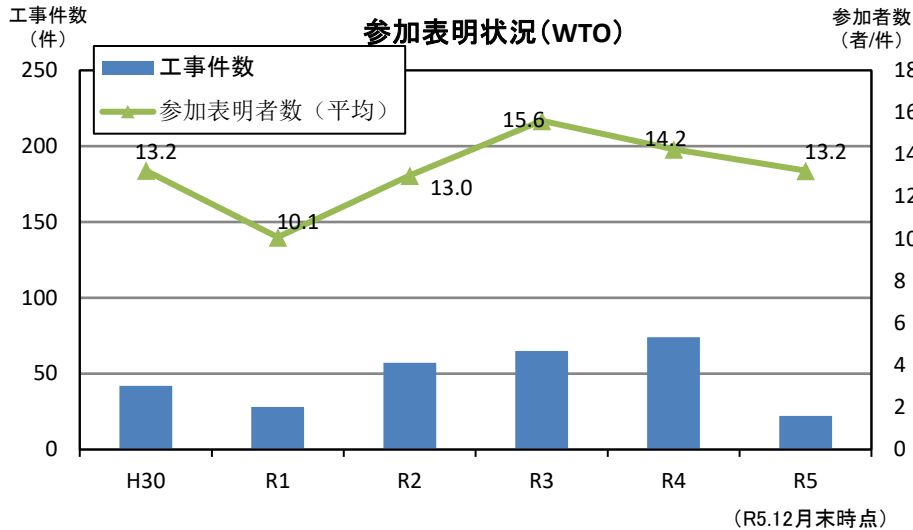
※一般競争、指名競争を対象。随意契約を除く
※250万円未満の工事を除く

	塗装	機械設備	暖冷房	建築	橋梁補修	受変電設備	通信設備	As舗装	港湾土木	電気設備	一般土木	維持修繕	鋼橋上部	造園	Co舗装	PC	法面処理	河川浚渫	空港土木	港湾浚渫	空港舗装	港湾等鋼構造物	木造建築	プレハブ建築
発注件数	2	16	26	57	34	8	47	48	14	15	206	125	7	24	1	5	3	4	4	4	2	1	0	0
不調不落件数	2	9	10	18	5	1	5	5	1	1	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1. ⑤参加表明者の状況

(R5. 12月末現在)

○令和5年度契約工事の平均参加表明者は、WTO対象工事で13.2者、WTO対象工事以外で6.5者であり、競争性が確保されている。



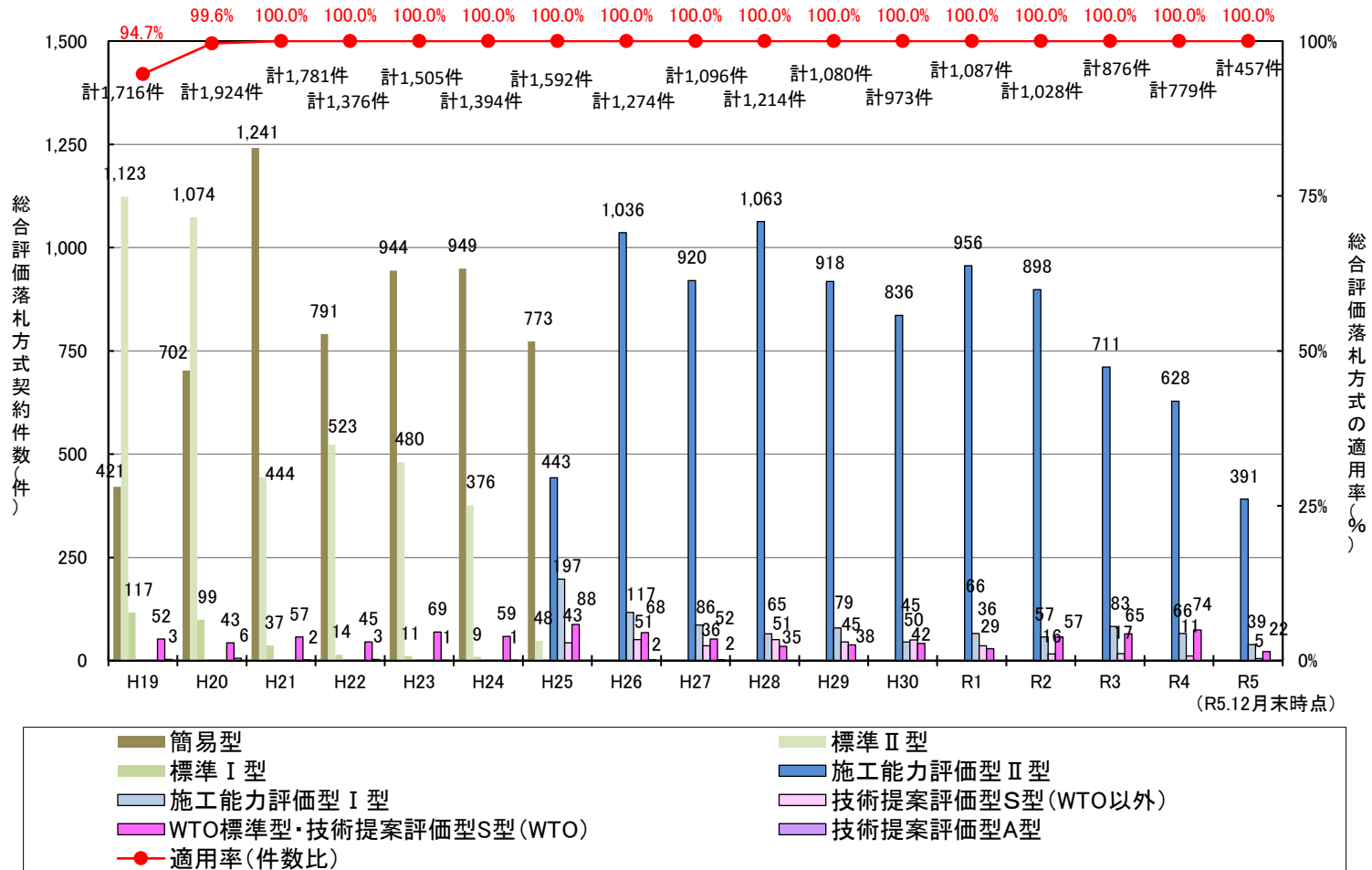
※一般競争を対象 ※250万円未満の工事を除く

2. ①総合評価落札方式の実施状況

(R5. 12月末現在)

- 一般競争入札では、平成21年度から全て総合評価落札方式で実施。
- 施工能力評価型Ⅱ型の適用が多い。

■総合評価落札方式の契約件数と適用率(件数比)の経年変化



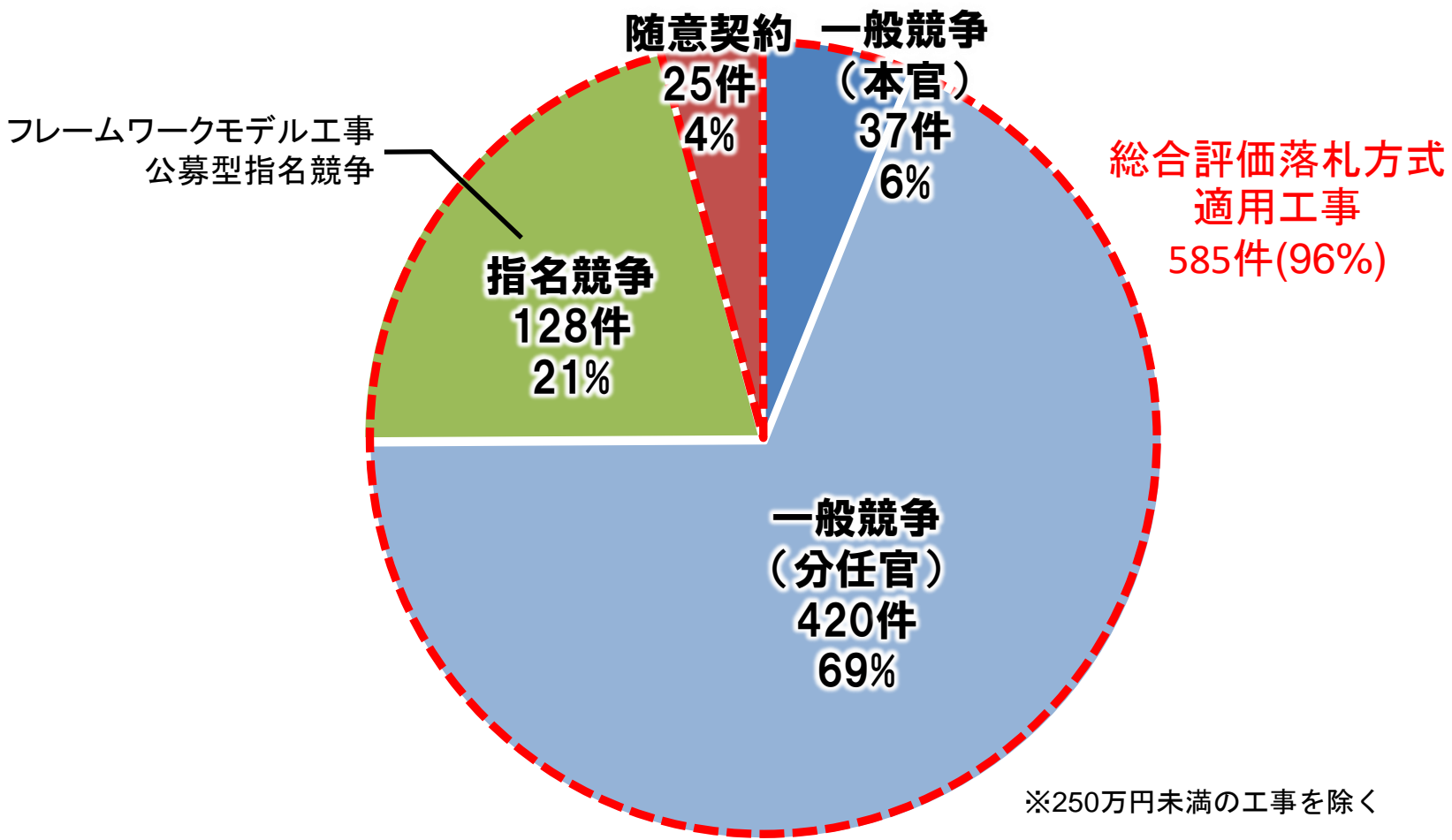
※一般競争を対象

※250万円未満の工事を除く

○令和5年度の全契約工事のうち、随意契約を除く全ての工事で総合評価落札方式を適用。

令和5年度工事契約件数（R5.12月末時点）

610件



2. ③総合評価落札方式の実施状況

(R5. 12月末現在)

- 施工能力評価型が約95%、技術提案評価型を約5%の割合で実施。
- 施工能力評価型Ⅱ型が全体の約88%を占めている。

工事種別	施工能力評価型Ⅰ型	施工能力評価型Ⅱ型	技術提案評価型S型(WTO以外)	技術提案評価型S型(WTO対象)	合計
一般土木工事	17	154		8	179件
アスファルト舗装工事	1	35			36件
鋼橋上部工事	4			2	6件
造園工事		19			19件
建築工事	5	10		1	16件
電気設備工事	1	5			6件
暖冷房衛生設備工事	2	4			6件
セメント・コンクリート舗装工事		1			1件
プレストレスト・コンクリート工事				1	1件
法面処理工事		3			3件
維持修繕工事		111			111件
河川しゅんせつ工事		4			4件
機械設備工事		5			5件
通信設備工事		26			26件
受変電設備工事		5			5件
橋梁補修工事	1	7		1	9件
港湾土木工事	5		4	4	13件
空港等土木工事	1		1	2	4件
港湾等しゅんせつ工事	2			2	4件
空港等舗装工事		2			2件
港湾等鋼構造物工事				1	1件
合計(件数)	39	391	5	22	457件
割合	8.5%	85.6%	1.1%	4.8%	100%
	94.1%		5.9%		

(R5.12月末時点)

※一般競争を対象
※250万円未満の工事を除く

2. ④落札者の状況(最低価格者以外が落札した割合)

(R5. 12月末現在)

○全発注件数のうち約38%を最低価格者以外が落札。

→令和4年度と比較しやや減少。

○技術提案評価型S型WTO対象以外は約40%、WTO対象は約55%を最低価格者以外が落札。

→令和4年度と比較しやや減少。

最低価格者以外の落札状況

	R3年度			R4年度			R5年度 (R5年12月末時点)		
	発注件数	最低価格者 以外の落札	左記の割合	発注件数	最低価格者 以外の落札	左記の割合	発注件数	最低価格者 以外の落札	左記の割合
施工能力評価Ⅱ型	711件	238件	33.5%	628件	232件	36.9%	391件	146件	37.3%
施工能力評価Ⅰ型	83件	24件	28.9%	66件	28件	42.4%	39件	14件	35.9%
技術提案評価S型 (WTO以外)	17件	8件	47.1%	11件	5件	45.5%	5件	2件	40.0%
技術提案評価型S型 (WTO対象)	65件	38件	58.5%	74件	50件	67.6%	22件	12件	54.5%
技術提案評価型A型	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	876件	308件	35.2%	779件	315件	40.4%	457件	174件	38.1%

※最低価格者以外の落札:落札者のうち、最低価格でなくても落札できた工事

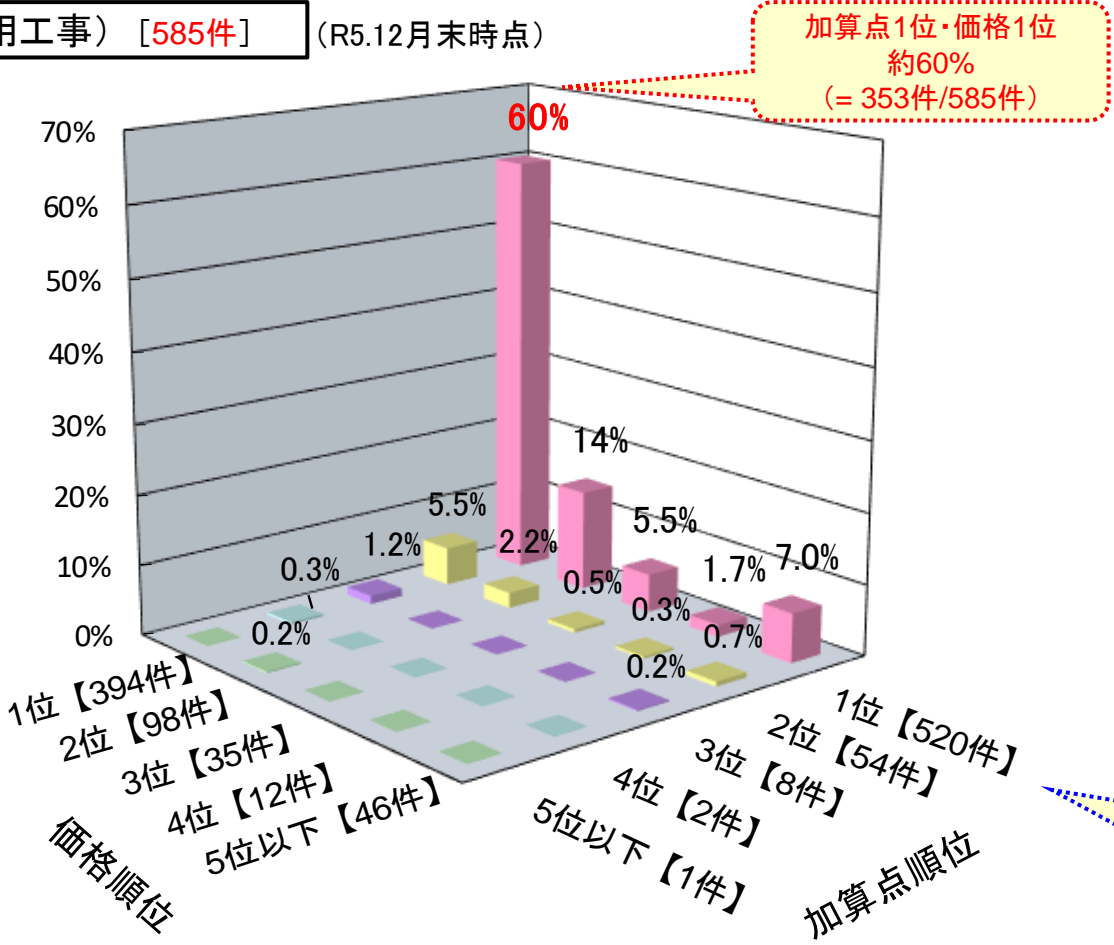
※一般競争を対象 ※250万円未満の工事を除く

2. ⑤落札者の状況(加算点・価格順位からみた落札者の状況)

- 加算点順位1位かつ価格順位1位の者による落札が全体の約60% (585件中353件)。
- 加算点1位の企業が落札者となる割合 (約89%、520件) は、価格順位が1位の企業が落札者となる割合 (約67%、394件) を上回っている。

【R5年度】(総合評価適用工事) [585件] (R5.12月末時点)

平均入札参加者数: 3.6者



加算点1位・価格1位
約60%
(= 353件/585件)

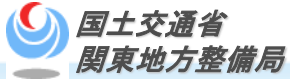
価格順位1位
約67%
(= 394件/585件)

加算点1位
約89%
(= 520件/585件)

※ 一般競争および指名競争(総合評価落札方式適用工事)を対象
 ※ 250万円未満の工事を除く
 ※ 加算点と価格順位の比較のため 予定価超過は含んでいない

2. ⑥落札者の状況(加算点・価格順位からみた落札者の状況)

(R5. 12月末現在)



【R5年度】(施工能力評価型) [558件] (R5.12月末時点)

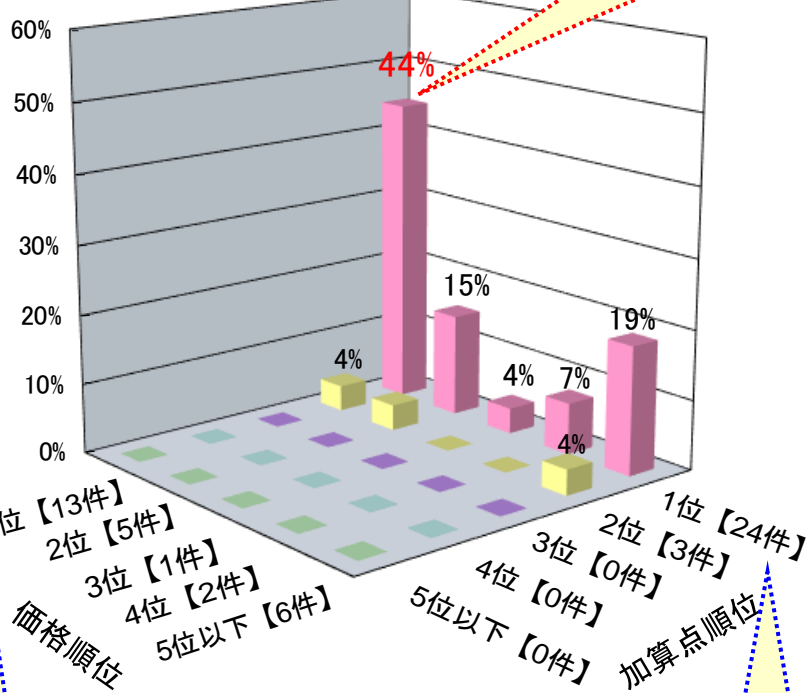
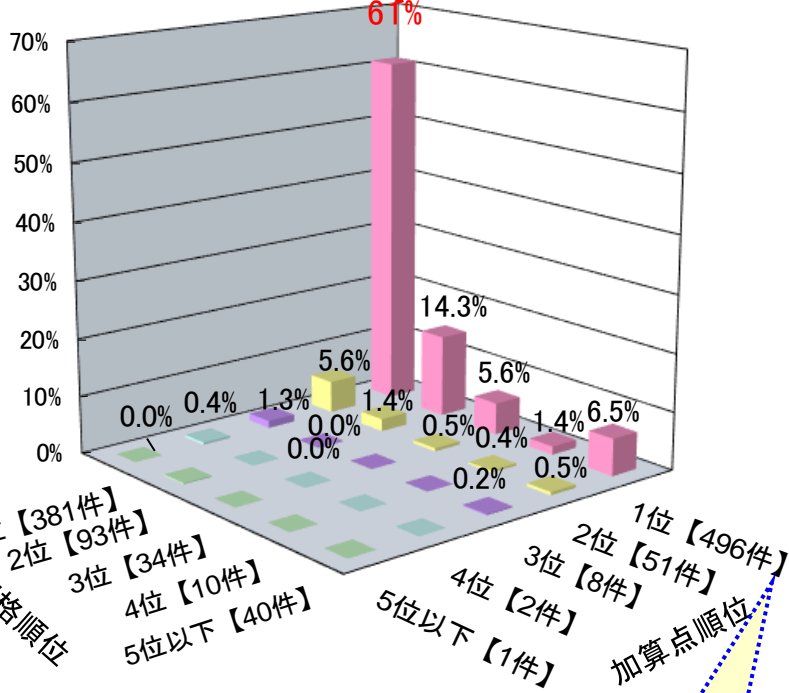
【R5年度】(技術提案評価型) [27件] (R5.12月末時点)

平均入札参加者数:3.5者

平均入札参加者数:6.0者

加算点1位・価格1位
約61%
(= 341件/558件)

加算点1位・価格1位
約44%
(= 12件/27件)



価格順位1位
約68%
(= 381件 / 558件)

加算点1位
約89%
(= 496件/558件)

価格順位1位
約48%
(= 13件/27件)

加算点1位
約89%
(= 24件/27件)

※ 一般競争および指名競争(総合評価落札方式適用工事)を対象
 ※ 250万円未満の工事を除く
 ※ 加算点と価格順位の比較のため 予定価超過は含んでいない

2. ⑦競争参加者の加点状況の分析

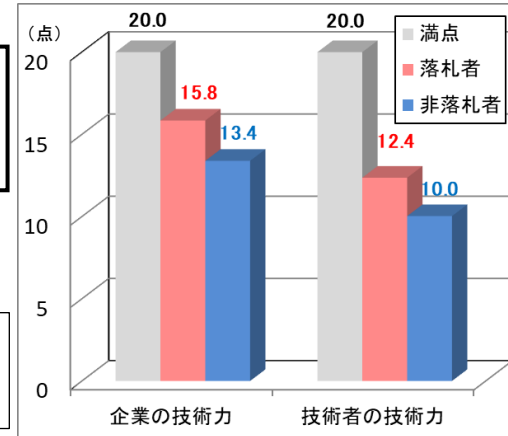
(R5. 12月末現在)

【施工能力評価型(標準タイプ) 一般土木工事】

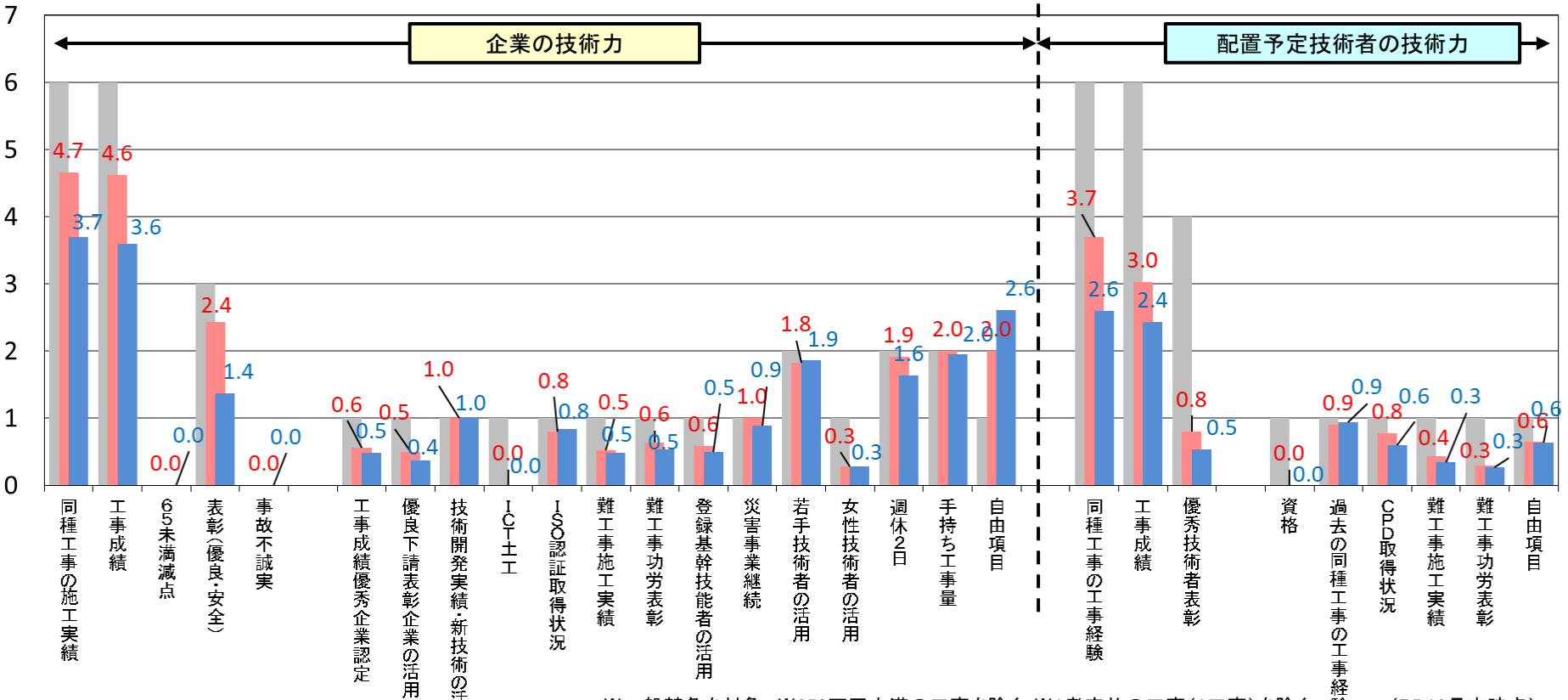
落札者(71者)と非落札者(623者)の違い

- 企業の技術力では、「同種工事の施工実績」「工事成績」「表彰」により差が顕著。
- 配置予定技術者の技術力では、「同種工事の工事経験」「工事成績」により差が顕著。

	落札者	非落札者	点差
合計	29.2	23.8	5.4
企業の技術力	15.8	13.4	2.5
技術者の技術力	12.4	10.0	2.3



(点)



※一般競争を対象 ※250万円未満の工事を除く ※1者応札の工事(1工事)を除く

(R5.12月末時点)

2. ⑧競争参加者の加点状況の分析

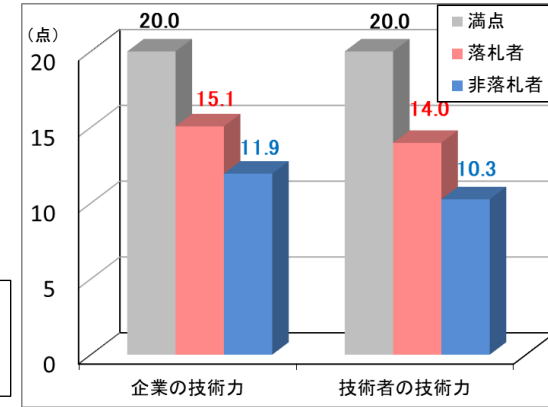
(R5. 12月末現在)

【施工能力評価型(地域密着工事型) 一般土木工事】

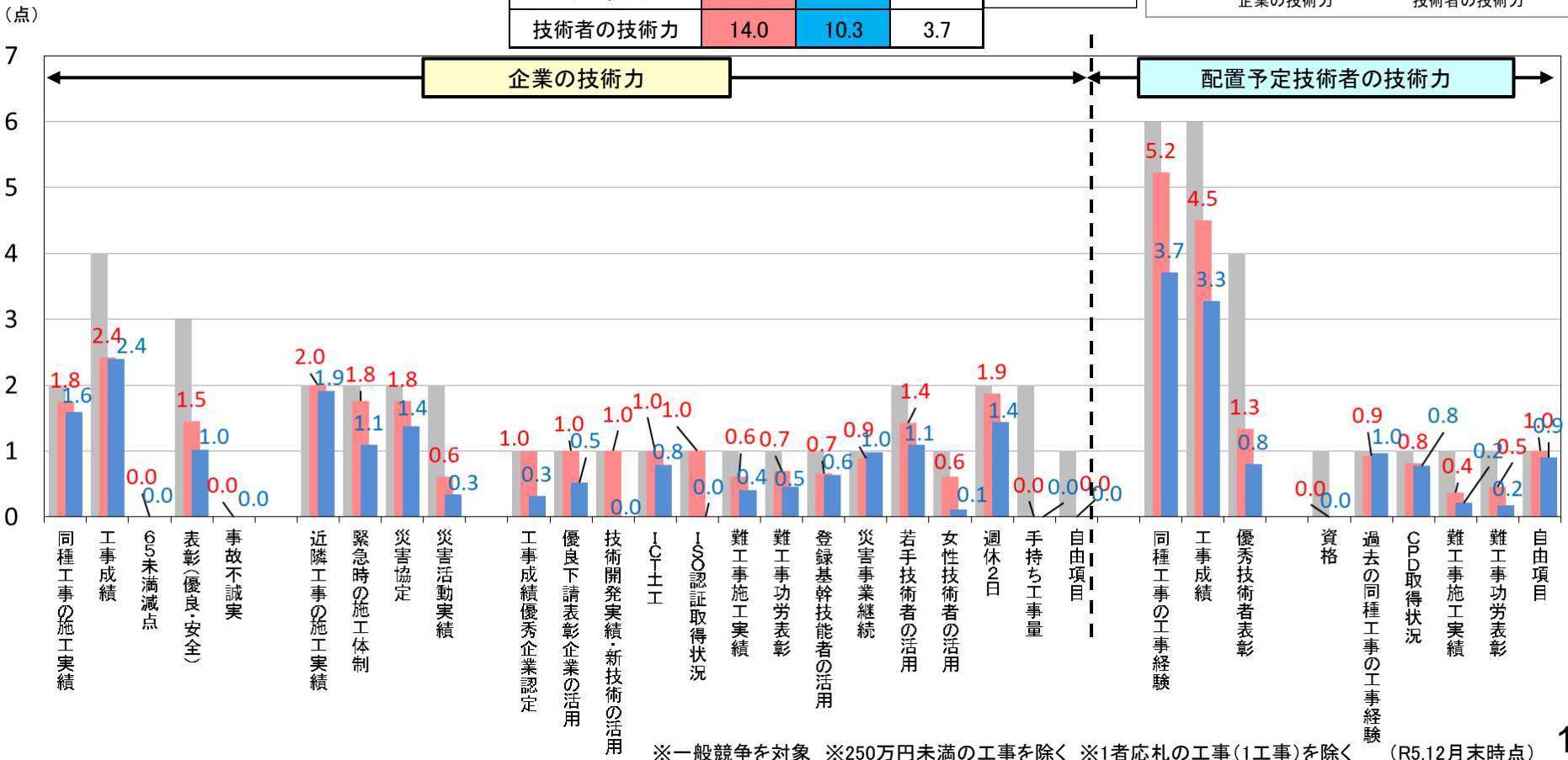
落札者(33者)と非落札者(381者)の違い

○企業の技術力は、「表彰」や「緊急時の施工体制」により差が顕著。

○配置予定技術者の技術力では、「同種工事の工事経験」、「工事成績」、「優秀技術者表彰」により差が顕著。



	落札者	非落札者	点差
合計	30.0	22.8	7.2
企業の技術力	15.1	11.9	3.1
技術者の技術力	14.0	10.3	3.7



※一般競争を対象 ※250万円未満の工事を除く ※1者応札の工事(1工事)を除く (R5.12月末時点)

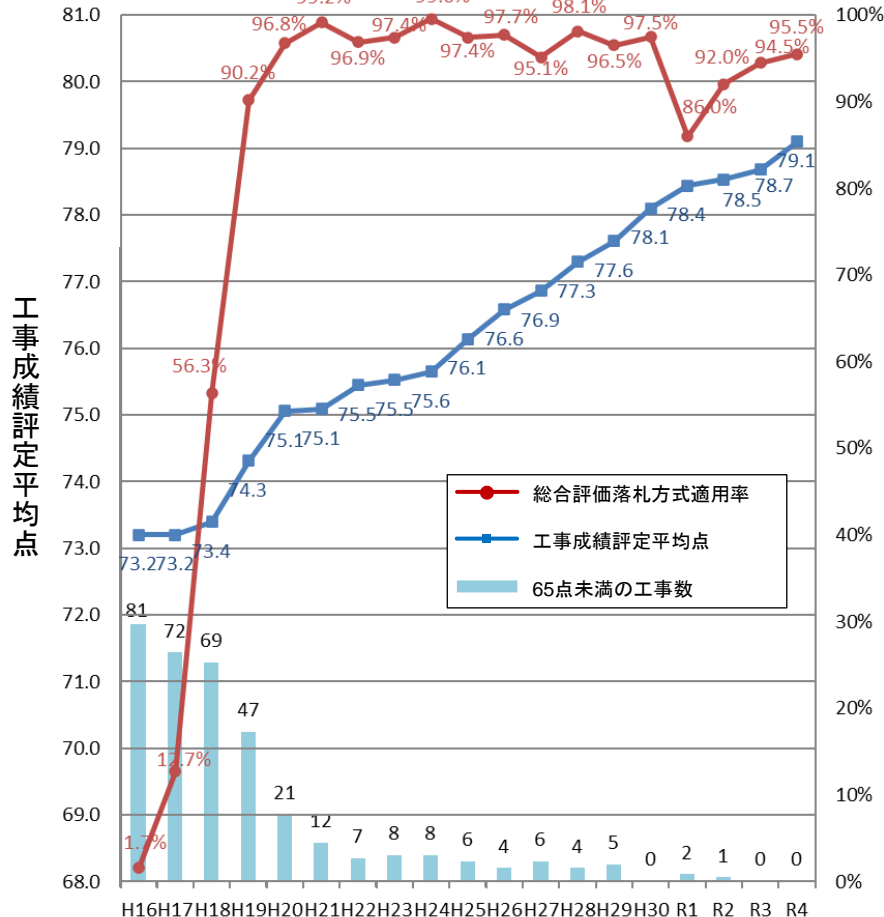
2. ⑨工事成績評定の推移

(R5. 12月末現在)

○ 工事成績評定の平均点は年々上昇傾向にある。また、65点未満の工事数は近年0~2件程度。

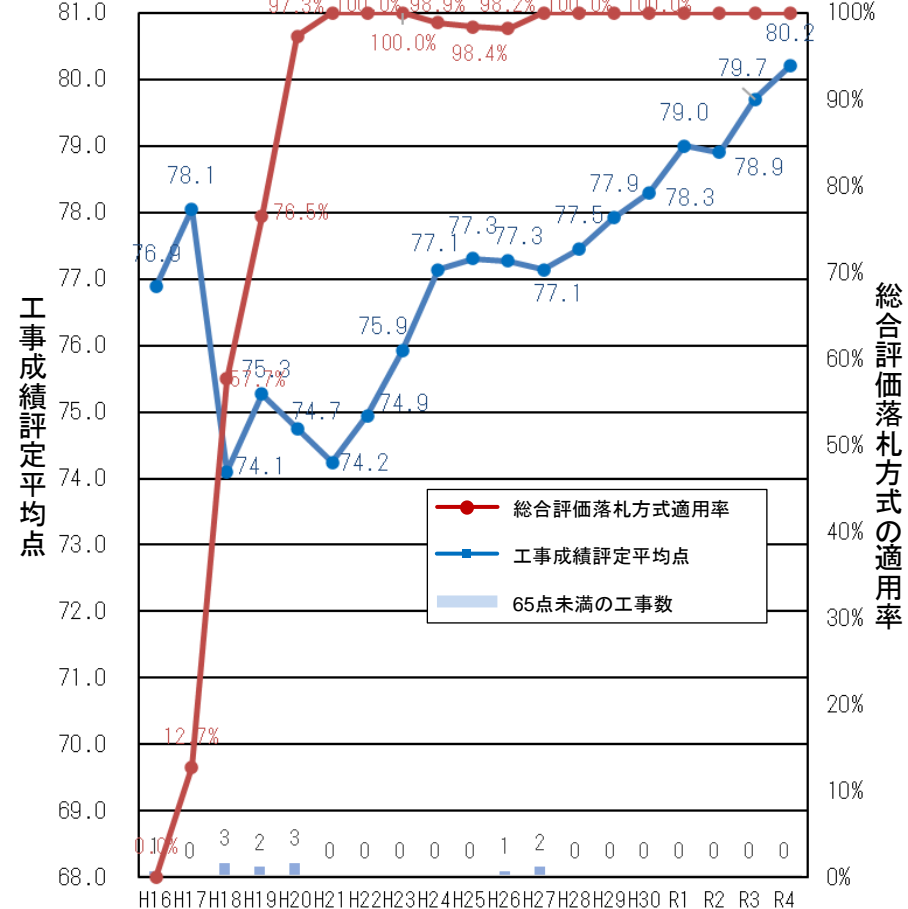
総合評価落札方式適用率と工事成績評定の経年変化(契約年度別集計)

【河川、道路、営繕、公園関係】



※総合評価落札方式の適用率は、全工事(一般競争、指名競争、随意契約)を対象
 ※工事成績評定の平均点は、全工事(一般競争、指名競争)を対象
 ※250万円未満の工事を除く

【港湾空港関係】



※総合評価落札方式の適用率は、全工事(一般競争、指名競争、随意契約)を対象
 ※工事成績評定の平均点は、全工事(一般競争、指名競争)を対象
 ※工事種別は港湾5工種を対象

2. ⑩多様な総合評価の取組結果(品質)

(R5. 12月末現在)

担い手の中長期的な育成・確保の促進に係る取組の工事成績評定

- 1) 各取組とも、施工能力評価型全体の平均点 79.1点(910件)と同程度で、完成した工事の品質は確保されている。
- 2) 今後も工事成績評定による品質確保に係る分析を継続。

取組内容	完成工事数 (R4年度)	工事成績評定の平均点 (R4年度完成工事)
若手技術者活用評価型 (平成25年度～) ※令和4年8月以降評価項目見直し	160件	79.4点
技術者育成型 (平成26年度～)	5件	79.0点
自治体実績チャレンジ型 (令和4年8月～) ※平成25年度～令和4年7月は自治体実績評価型	142件	79.4点
地域防災担い手確保型 (平成26年度～)	115件	79.3点
地域防災実績評価型 (令和2年度～)	204件	79.0点
実績評価型 (令和2年度～)	32件	77.1点